

資料館整備に宝くじ助成 10月開館めざして事業を推進



深澤晟雄資料館に改造予定の沢内病院旧看護婦宿舍 (4月13日撮影)

深澤晟雄資料館整備に充てるため、財団法人・日本宝くじ協会に公益事業費助成を申請していましたが、このほど本会に2千100万円の助成金交付が決まりました。

今年度県内で同協会の公益事業費助成を受けるのは、世界遺産関連施設を整備する平泉町と本会の2団体だけで、NPO法人では本会が県内初の助成団体選ばれました。

深澤晟雄資料館は沢内病院の旧看護婦宿舍を改造して資料の収蔵・展示と研究活動ができる施設にしようと同関係機関との協議や日本宝くじ協会に公益事業費助成を申請するなど、その実現に努めてきました。

助成申請には本会が町のNPO担当課の助言指導を得ながら事務手続きを進めてきました。また、本会の会員も150人に迫るなど、官民一体の協働体制が助成審査部門の評価を高めたように、NPO法人では県内初の助成団体選ばれました。

同協会の助成は団体の事業費負担を義務づけられないので助成希望が多く、審査も厳しいといわれます。今年度の公益事業に係る採択でも平泉町の世界遺産関連施設と深澤晟雄資料館の2事業に絞られました。

助成額2千100万円には施設の改造費、備品購入費や資料展示費などが含まれています。また、資料館は1階に展示室、資料収蔵庫と事務室を、2階に生命尊重行政研究室を設ける計画です。資料館は10月1日オープンをめざしており、資料の収集整理なども急ピッチで進みそうです。

総会と講演会のご案内

6月1日 沢内バーテン

深澤晟雄の会の総会を6月1日沢内バーテンで開催します。当日は総会に先立って午後5時から「村長ありき」の著者 及川和男氏の講演会があります。「今なぜ深澤か。生命行政か。NPO法人の持つ意義」などを語っていただきます。

講演会は一般市民も無料で聴講できます。

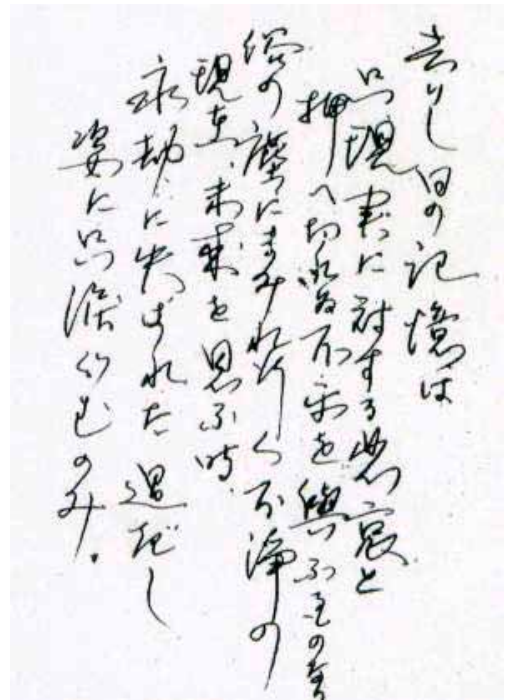
総会は講演会に続いて開催します。会員は年会費千円(当日会員申込み可)、懇親会参加は3千円です。詳しくは下記事務局へご連絡下さい。

去りし日の記憶は...



若かりし頃の深澤ご夫妻

若かりし頃のアルバムを見てつづった氏の直筆の文章で、
アルバムに添え書きされていたものである。



去りし日の記憶は

口現実に対する悲哀と

押さえ切れぬ不平を写つるものなり

俗の塵にまみれ行く不浄の

現在、未来を思つ時

永劫に失われた過ぎし (ぎ=記+濁点)

姿に涙くむのみ

お知らせ

めんこいテレビ番組案内

番組名/ドキュメンタリー「心療」

放送日/5月31日14時

深澤晟雄の理念を受け継ぐ増田進
元沢内病院長の医療観にスポットを
あてます。6月に全国放映も予定。

「いのちの作法」上映案内

期日/5月5日17時40分

会場/小岩コミュニティホール(東

京都江戸川区 小岩図書館内)

入場料/前売券大人千円(当日千2

百円) 子供5百円(当日とも)

期日/6月3日19時

場所/沢内農業者トレセン

入場料/全国一律で右の東京と同じ

録 余 集 編

生命村長・深澤晟雄
の理念を受け継ぎ、
その業績を後世に伝
える資料館がいよいよ
現実味を帯びてき
た。日本宝くじ協会

の助成が決まったからだ。申請
初年度で審査をパスし、NPO
法人では県内初の助成となつた
のも行政関係機関をはじめ、町
内外の個人や企業の温かいご理
解とご支援の賜物と感謝に堪え
ない。宝くじ助成決定は、長い
こと不在だつた沢内病院の新院
長就任と機を一にした。同時に
及川和男著「村長ありき」復刊
企画中のニューズも飛び込み、
映画「いのちの作法」はいよいよ
よ全国上映に乗り出す。ここに
来て生命尊重の灯が一気に炎と
なつて燃え上がった感がある。
その炎の源は、「自分たちで自分
たちの命を守ろう」と呼びかけ
た深澤精神であろう。その深澤
精神を主軸に行政や企業との協
働の輪を構築しつつ、本会に賛
同・支援される多くの方々と手
を携えて助成に恥じない資料館
づくりをと決意を新たにす。